

西区認知症を考える会

医療法人水明会佐潟荘 医局

令和元年7月30日(火)、西区認知症を考える会（場所：ホテルディアモント新潟西、主催：第一三共株式会社）に参加しました。

最初に、済生会新潟病院 地域医療連携室 室長 齋藤浩生先生による『認知症連携における新潟市在宅医療・介護連携ステーション西の役割について』、および信楽園病院 地域医療連携室 室長 松井昌子先生による『認知症連携における新潟市在宅医療・介護連携ステーション西第二の役割について』の2講演がありました。西区の東西を担当するこれら2つの在宅医療・介護連携ステーションの認知症連携への取り組みが、今後ますます活発化することが期待されます。

講演Ⅲとして、当院の北村医師が『西区における認知症初期集中支援チームの現状と課題』を発表しました。この認知症初期集中支援チームですが、西区と西蒲区を担当するチームは佐潟荘を拠点として昨年11月から支援活動を行っており、今年7月中旬までに約15件のケースを扱いました。

最後のディスカッションでは、『新潟市西区に今後の認知症対策を考える』をテーマに多くの人々と活発な議論を持つことができました。特に各エリアの地域包括支援センターの皆さんの熱心さに感銘を受けました。